

# 取扱説明書

## 整備マニュアル

# ピットレシーバー

PR 3 - 1  
4 2  
5 2M  
6  
7

- ・御利用頂く前に、必ず本取扱説明書をお読み下さい。
- ・本取扱説明書は、紛失しない様に大切に保管して下さい。

御利用頂く前に、必ずこの取扱説明書をお読み下さいまして、常に正しい操作と正しい取扱を行い、作業能率の向上にお役立て下さいます様よろしくお願い申し上げます。

～注意～

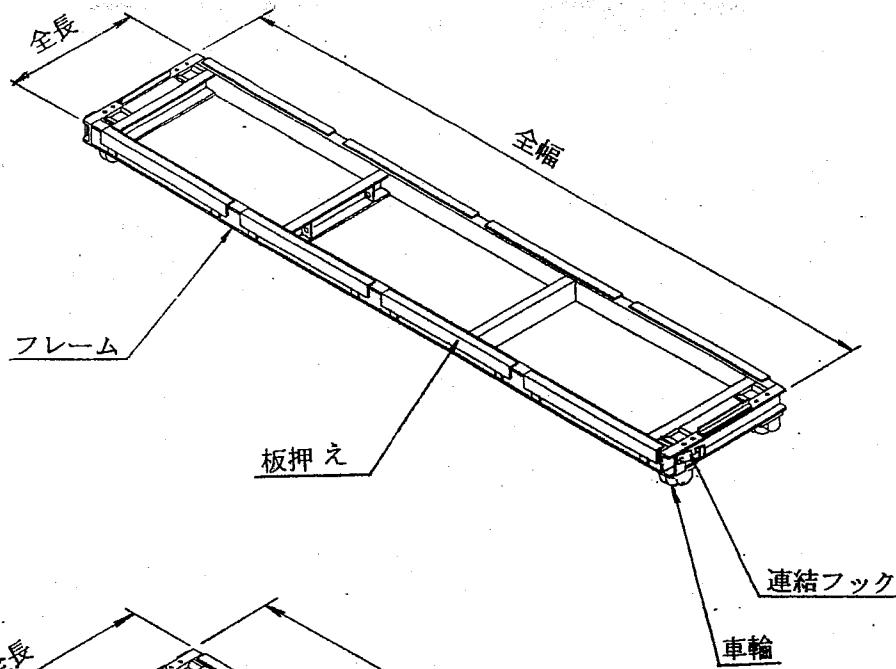
- ・本取扱説明書は紛失しない様、大切に保管して下さい。
- ・本取扱説明書に反する使用は、故障を起こすばかりでなく死亡事故等につながり、非常に危険を伴いますので、絶対にしないで下さい。

## 目 次

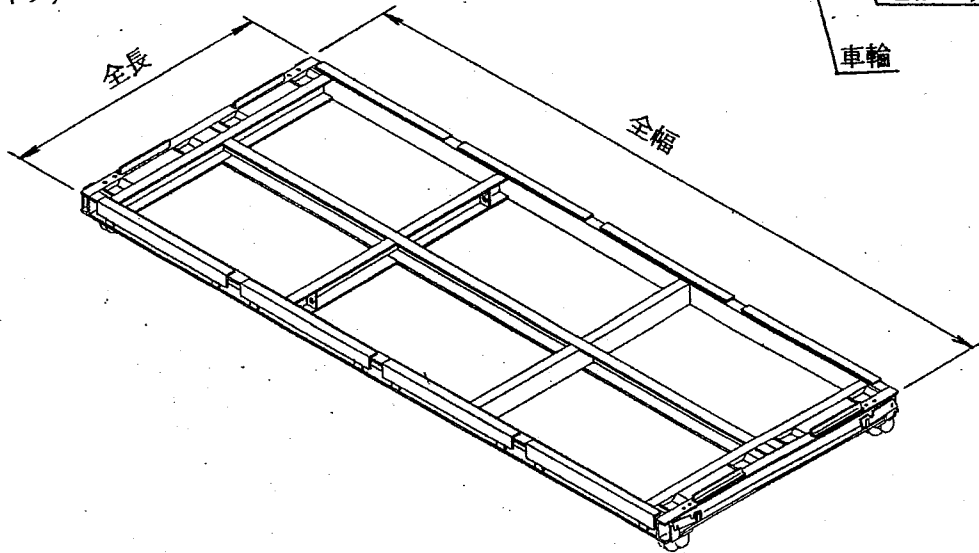
各部の名称及び仕様	1
レール施工	3
台車の吊	4
台車の据付	5
連結及び足場板取付	6
制御盤接続	7
組立	8
モーターブレーキ切替	9
台車走行	11
安全作業を行う為に	13
台車の保管	18
整備マニュアル	20

# 各部の名称及び仕様

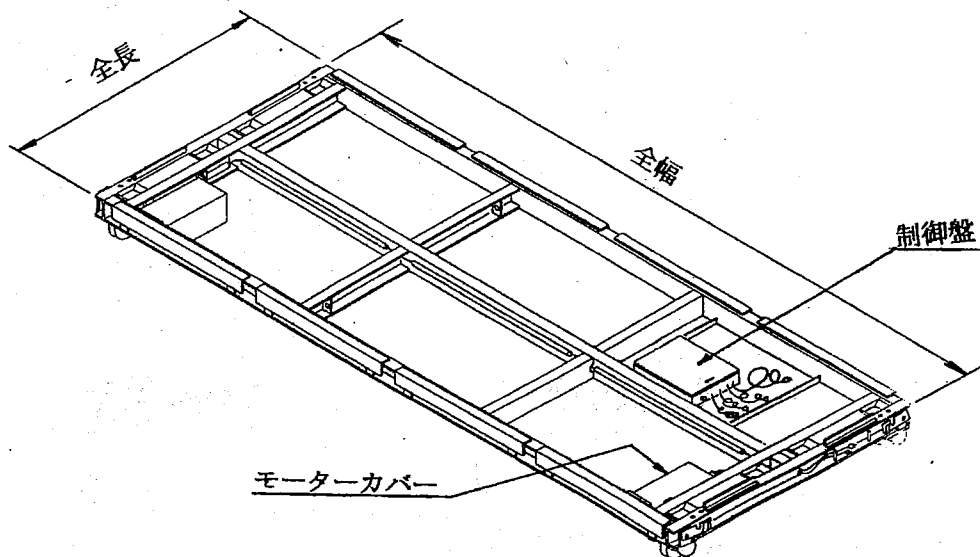
(全長1000mmタイプ)



(全長2000mmタイプ)



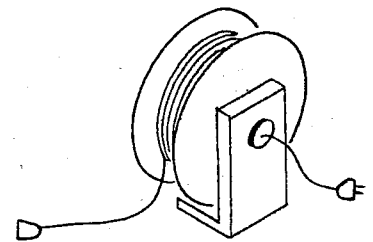
(全長2000mmタイプのモーター付)



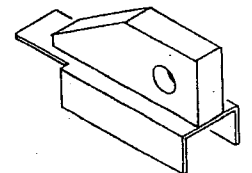
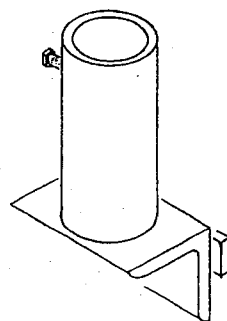
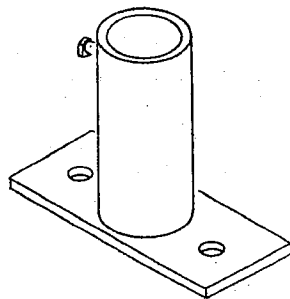
形 式		3 型	4 型	5 型	6 型	7 型	
積 載 荷 重 ( kg / m <sup>2</sup> )		6 0 0 (等分布)					
寸 法	全 幅 W ( mm )	3,000	4,000	5,000	6,000	7,000	
	レール中心間寸法	2,750	3,750	4,750	5,750	6,750	
	全 高 H ( mm )	380					
	全 長 L (mm)	I 手 押 し		1,000	1,000	1,000	1,000
		II 手 押 し	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
IIIモーター駆動		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
車 輪		φ 1 7 0 × 4 コ / 1 台					
重 量 (kg)	I 手 押 し		380	420	560	620	
	II 手 押 し	470	560	620	840	940	
	IIIモーター駆動	560	670	730	940	1,050	

・電源 3 相 200V

・モーター 0.2kw × 2 台 (台車 1 台)



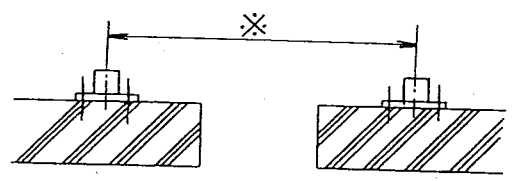
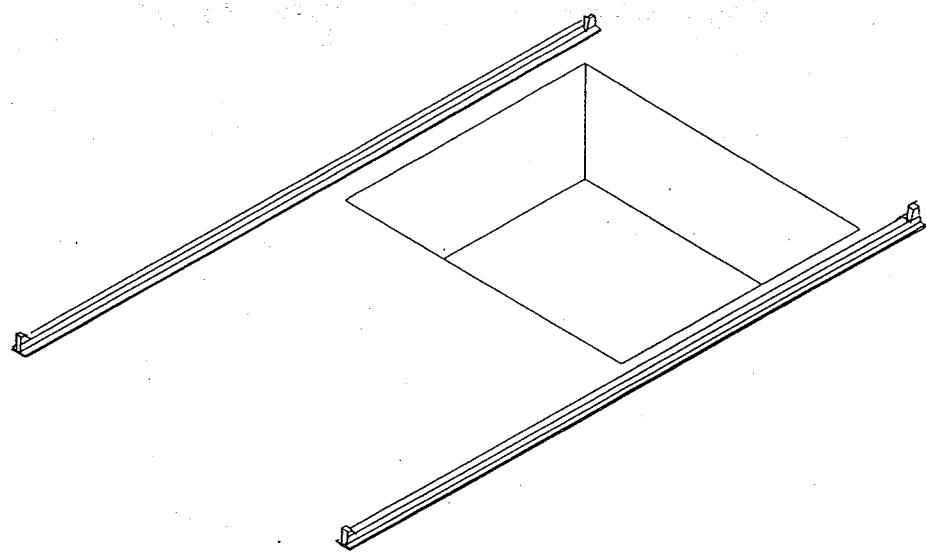
ケーブルリール



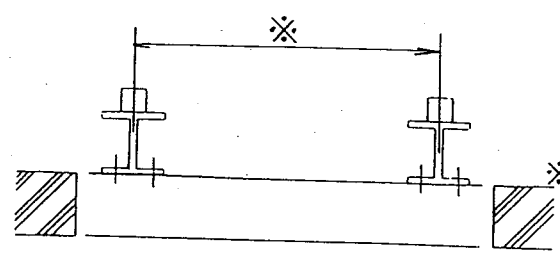
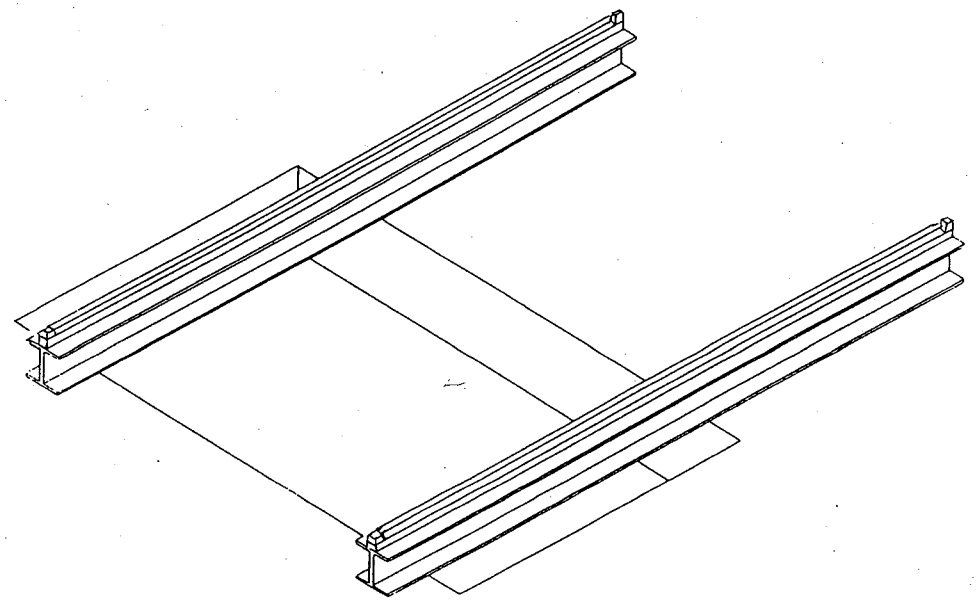
手摺スタンド (上面) 手摺スタンド (側面) 車輪ストッパー

# レール施工

両端のレールストッパーは、必ず4ヶ所確実に取付け願います。

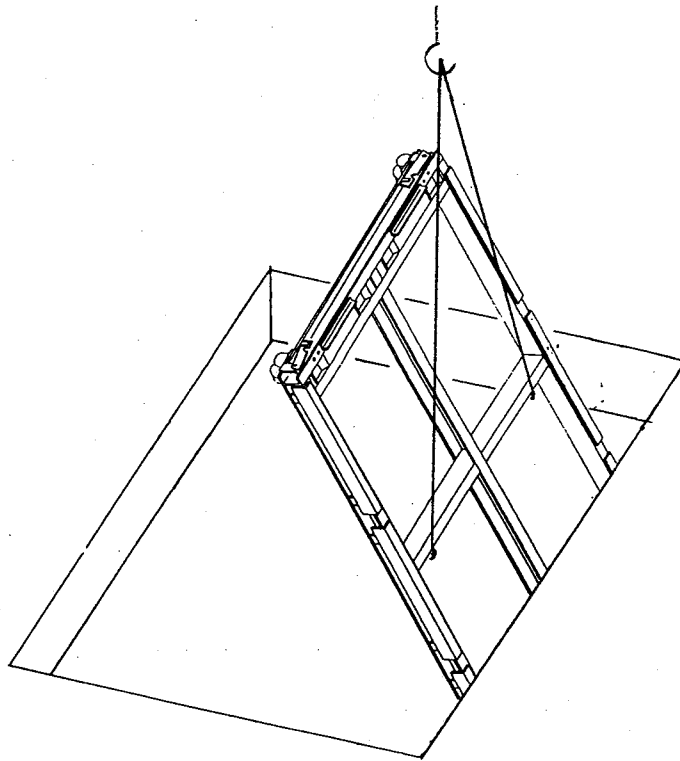
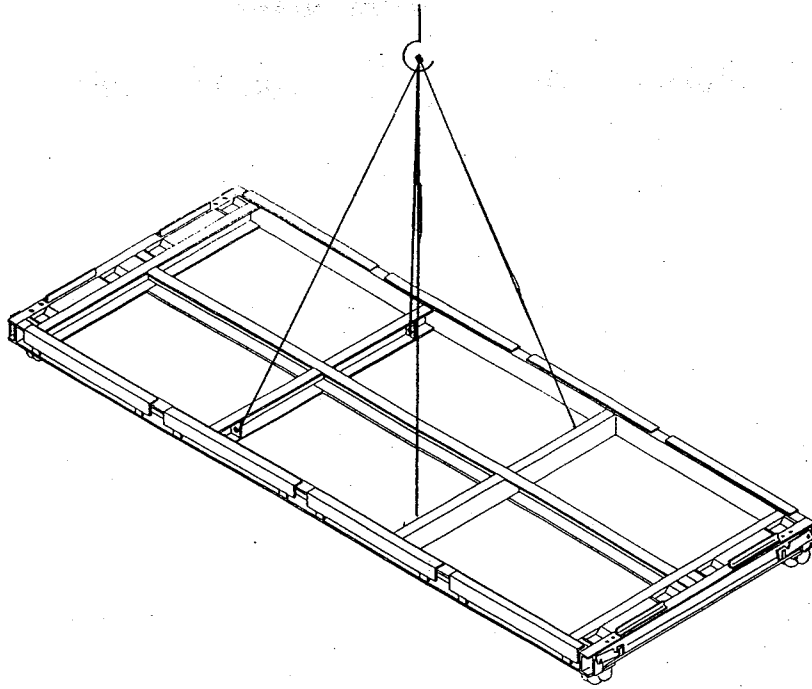


- レール 44<sup>□</sup>
- ベースはアンカーで確実に固定して下さい。
- ※ • レール中心間距離は±2.0mm以内で収めて下さい。



- レール 44<sup>□</sup>
- H形鋼とアンカーで確実に固定して下さい。
- ※ • レール中心間距離は±2.0mm以内で収めて下さい。
- H形鋼は用途に応じて十分強度のある物を使用して下さい。

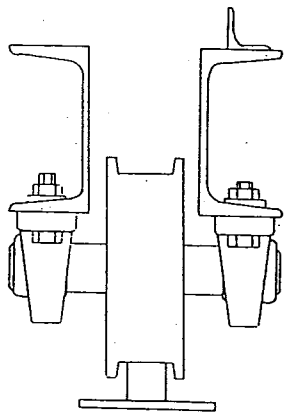
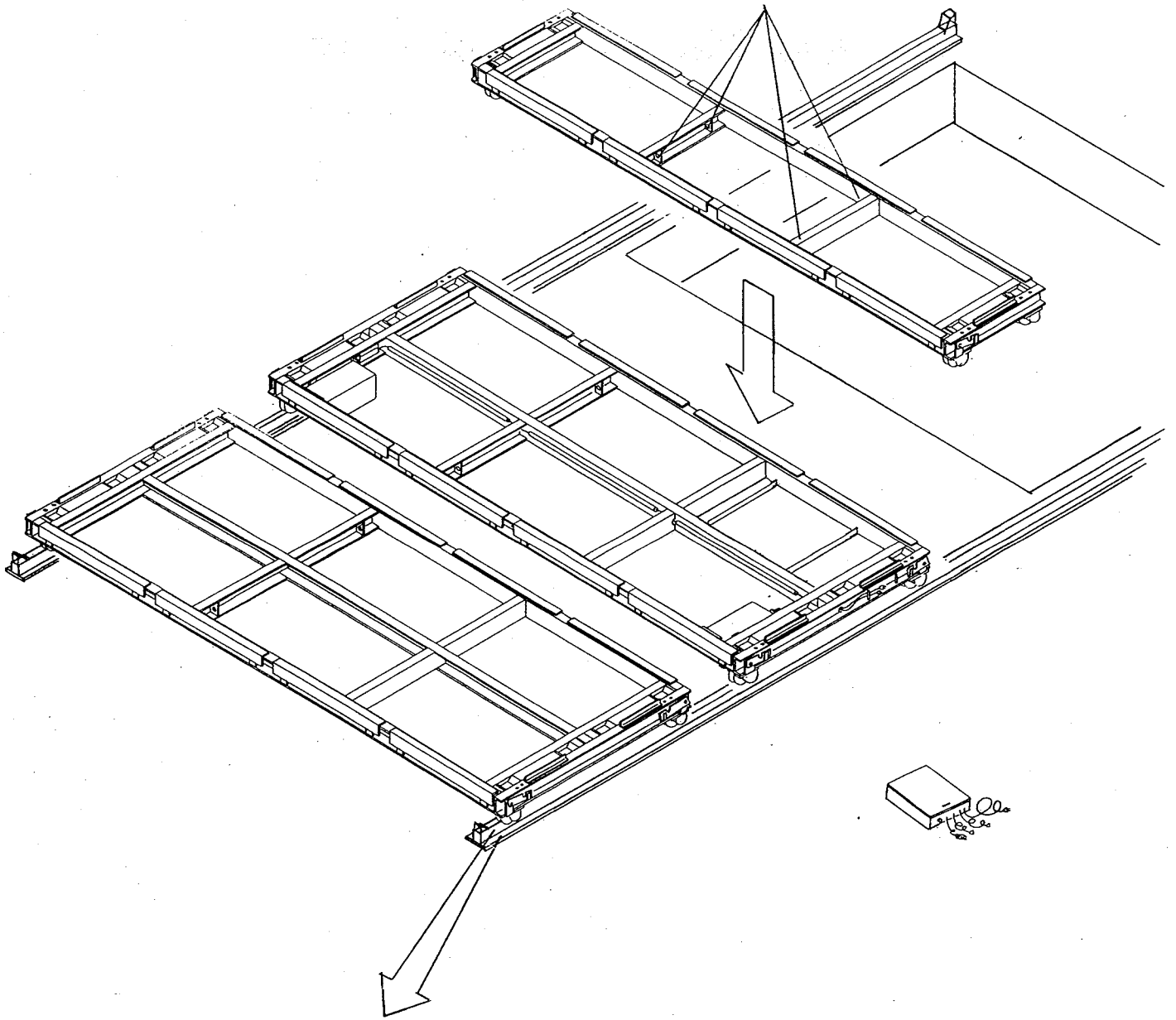
# 台車の吊



※モーター付の場合は制御盤を外に取り出して下さい。

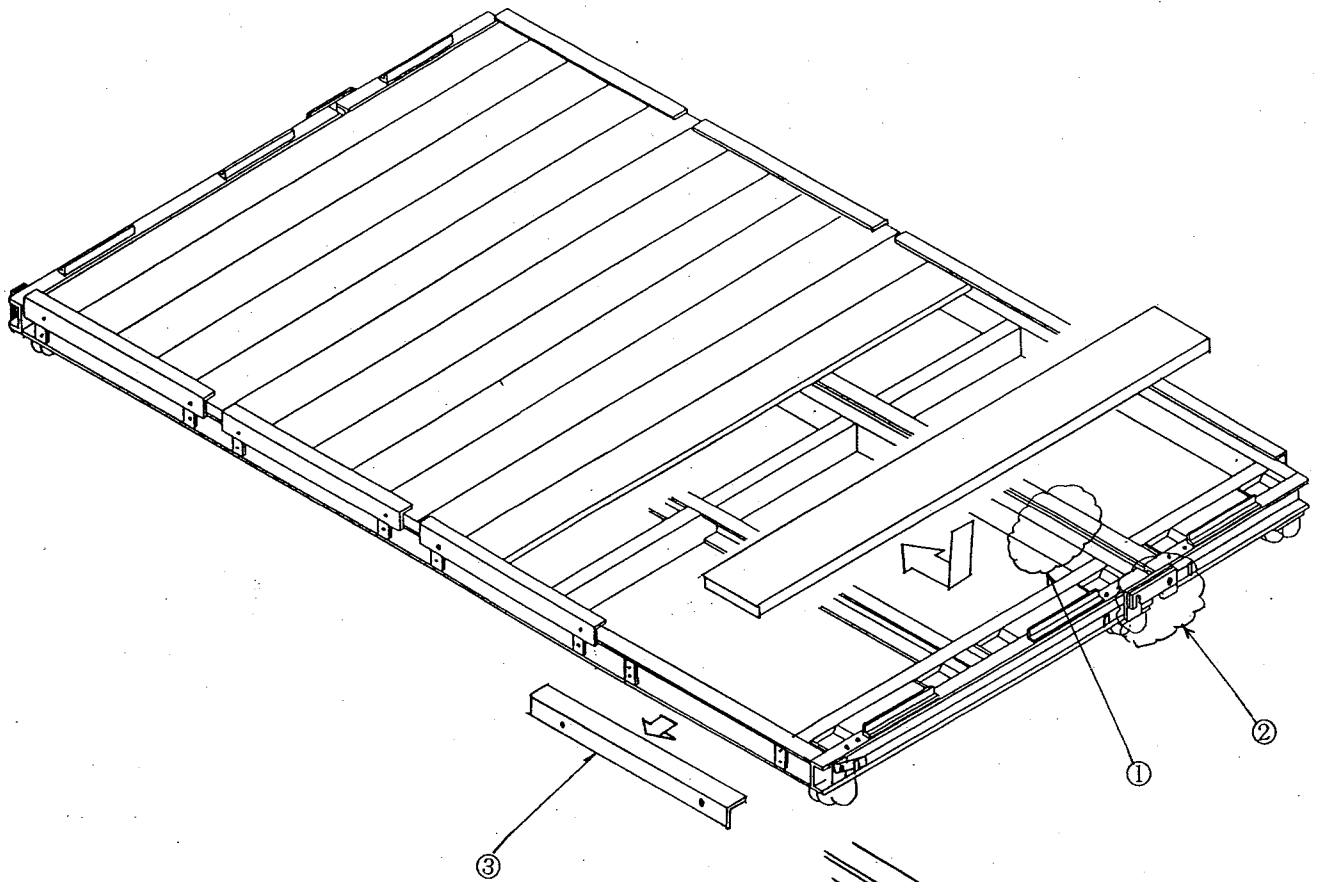
※ワイヤー及びシャックルは充分強度の有るものを使用して下さい。

台車据付



## 連結及び足場板取付

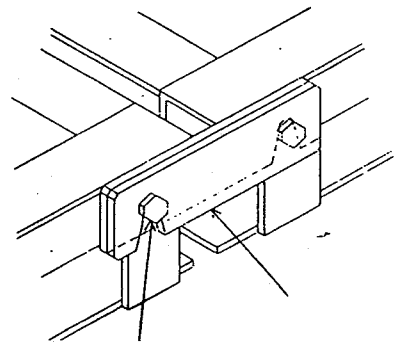
『(社) 仮設工業会認定基準合格品  
の金属製足場板を必ず使用して下さい。』



①足場板の長さに依り板押さえを下側に移動させることができます。

板押エ

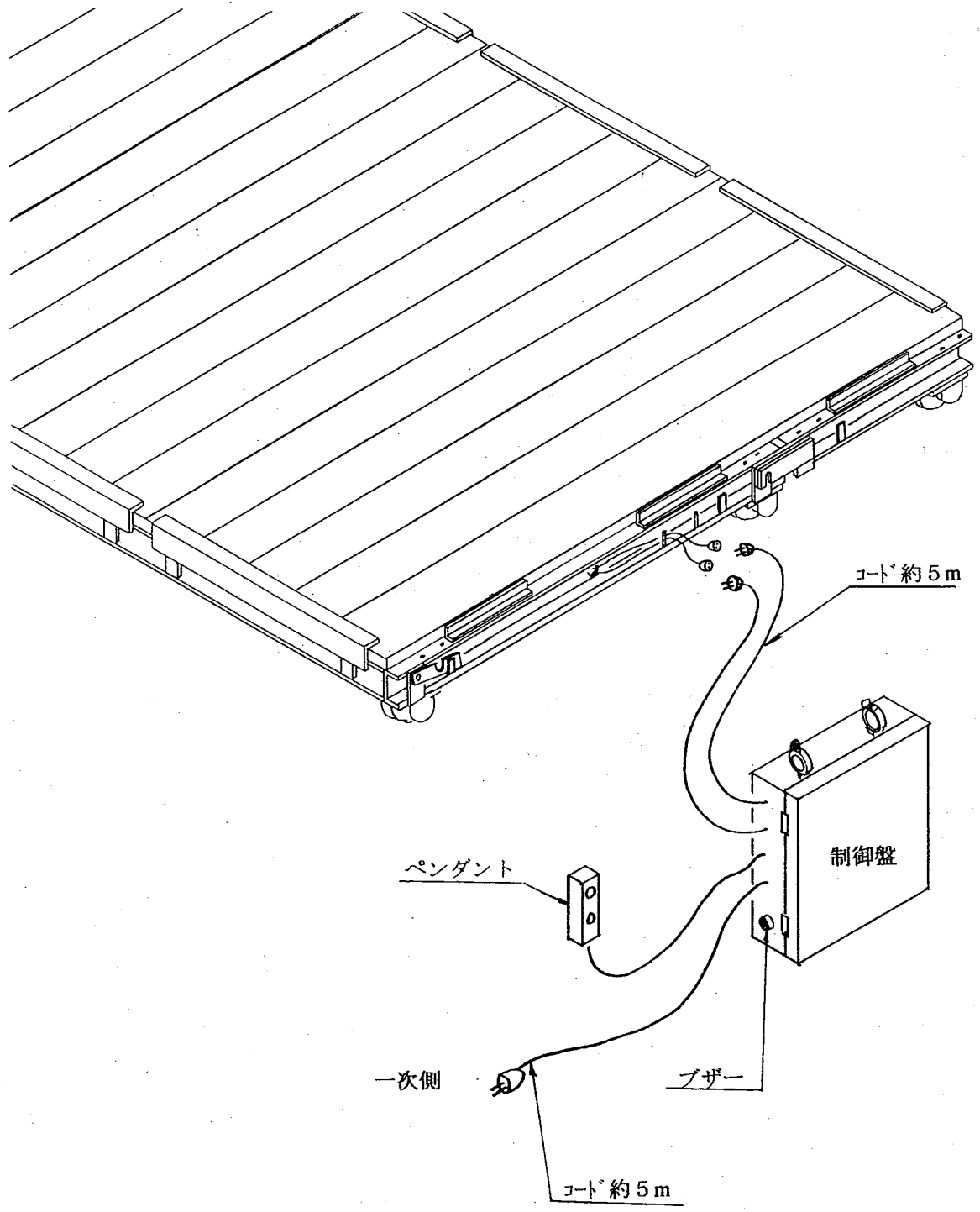
②連結フックをお互いの連結ボルトに引っ掛けます。  
(全長1000タイプは連結フックは片方しか付いていません。)



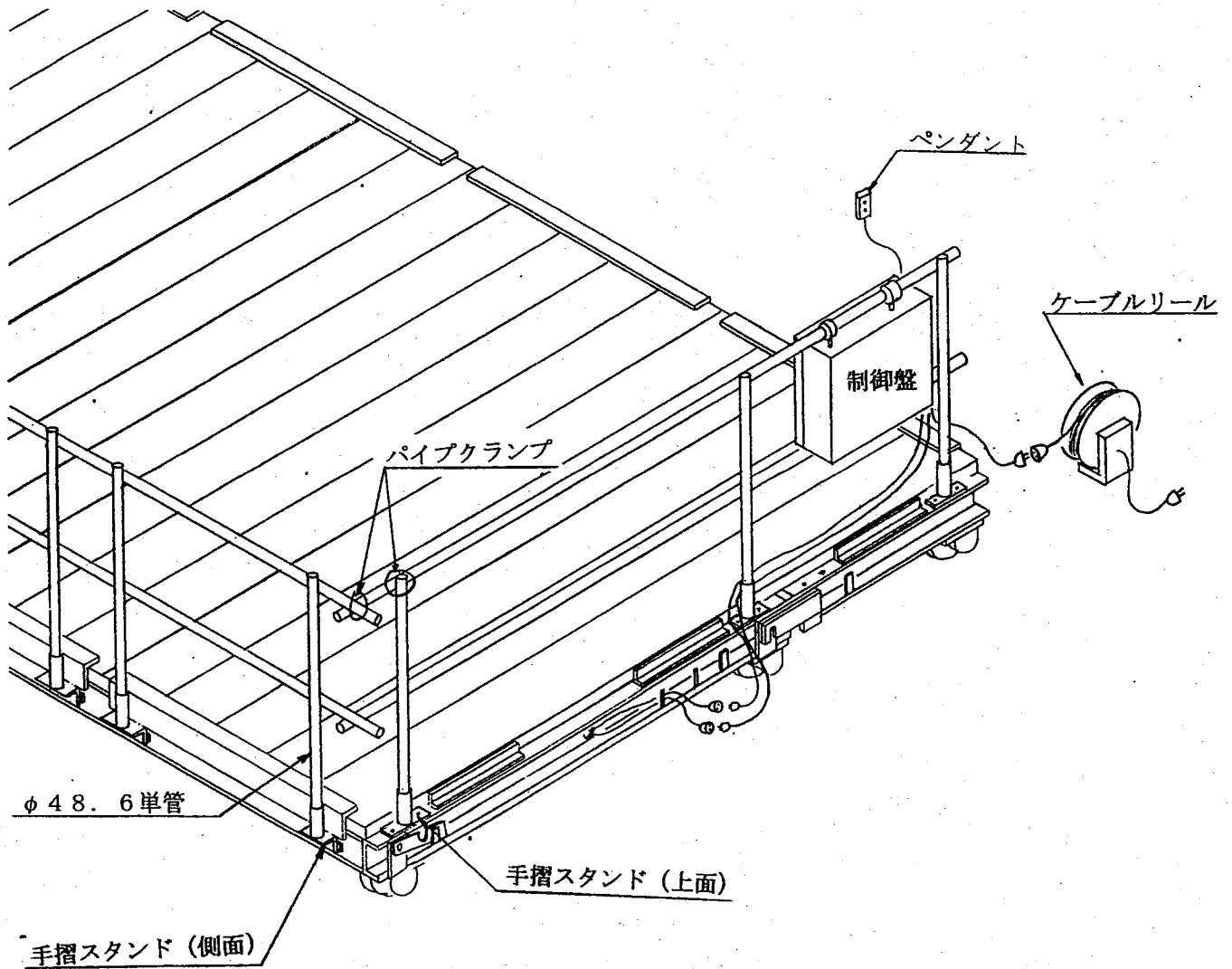
- ③・板押さえを1枚取り外して下さい。  
・板押さえのボルトを総て緩め、上に持ち上げ足場板を入れて下さい。  
・足場板を取付後、板押さえを1枚取付、ボルトを総て締め付けて下さい。



# 制御盤接続



# 組立



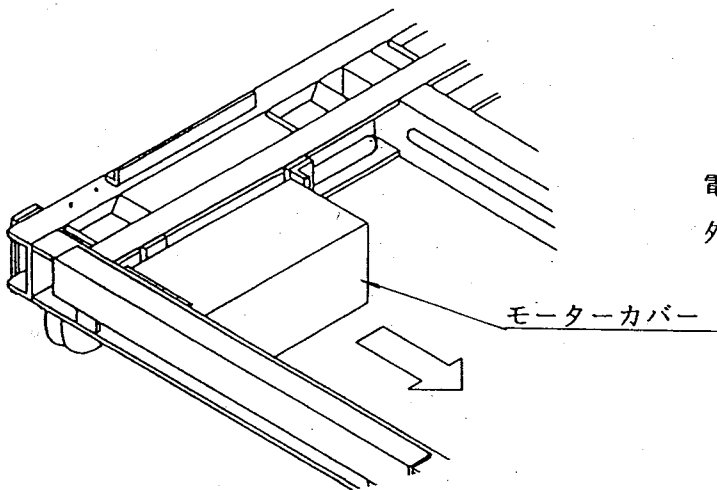
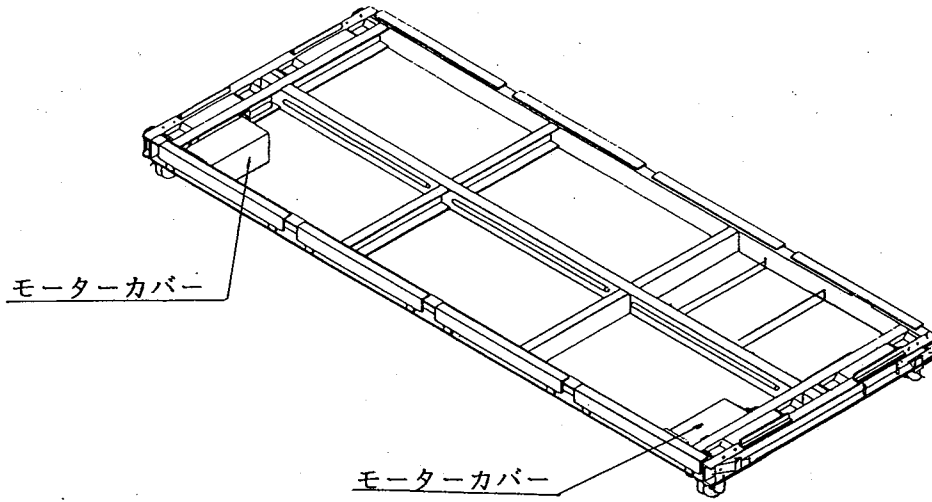
- ①手摺スタンド取付後、単管パイプにて、手摺を組立て下さい。
- ②パイプの交差する所は、総てパイプクランプにて固定して下さい。
- ③手摺に制御盤を取付て下さい。
- ④必要に応じて、ケーブルリールを取付、固定して下さい。
- ⑤電線処理は、引っ掛けない様、フレーム及びパイプに確実に固定して下さい。

# モーターブレーキ切替

モーターのブレーキ解放及び作動の方法

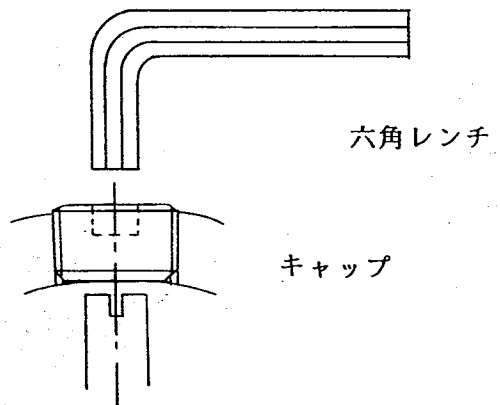
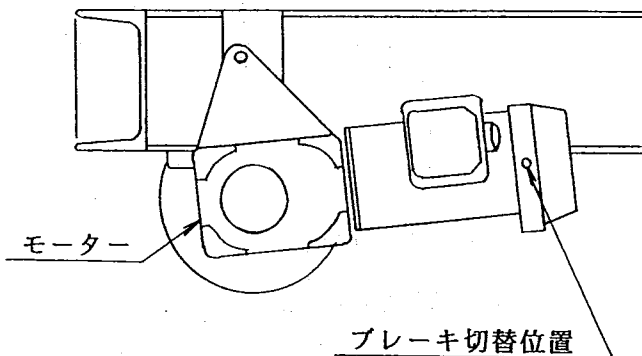
★注意★

ブレーキの切替を行う時は、必ずモーター2個共同様にして下さい。

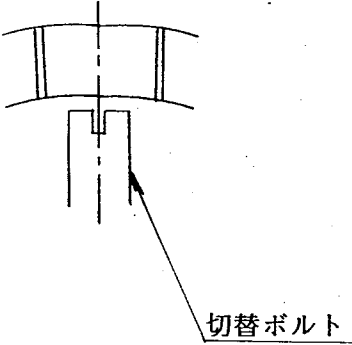
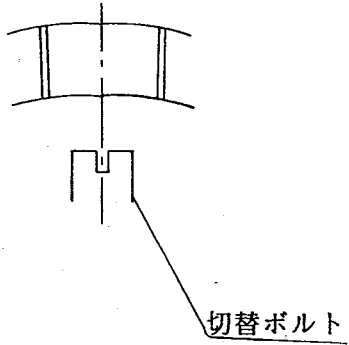


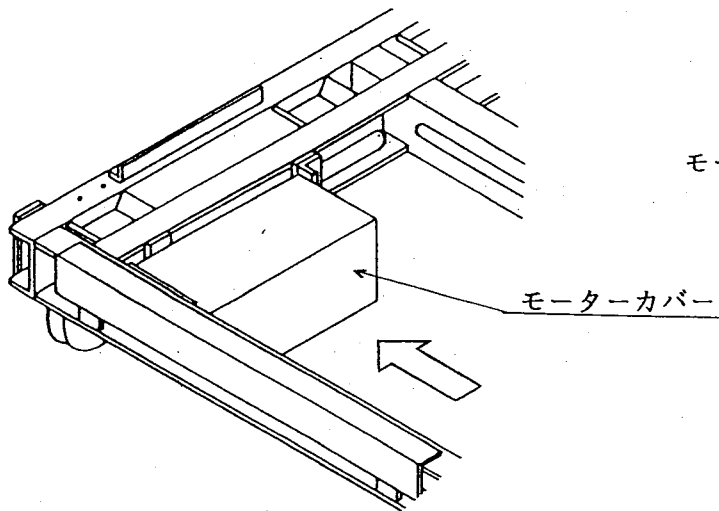
電源OFFの状態ではモーターカバーを外して下さい。

六角レンチ (10mm) でキャップを外して下さい。



- ・ マイナスドライバーで切替ボルトを廻して、ブレーキを解放及び作動状態にして下さい。  
(下表参考)

	ブレーキ解放状態	ブレーキ作動状態
操作	切替ボルトを右へ廻して締めて下さい。 (あまりかたく締めないで下さい。)	切替ボルトを左へ空転するまで廻して下さい。 (空転状態になると“カチッ”と音がします。)
切替ボルトの位置		

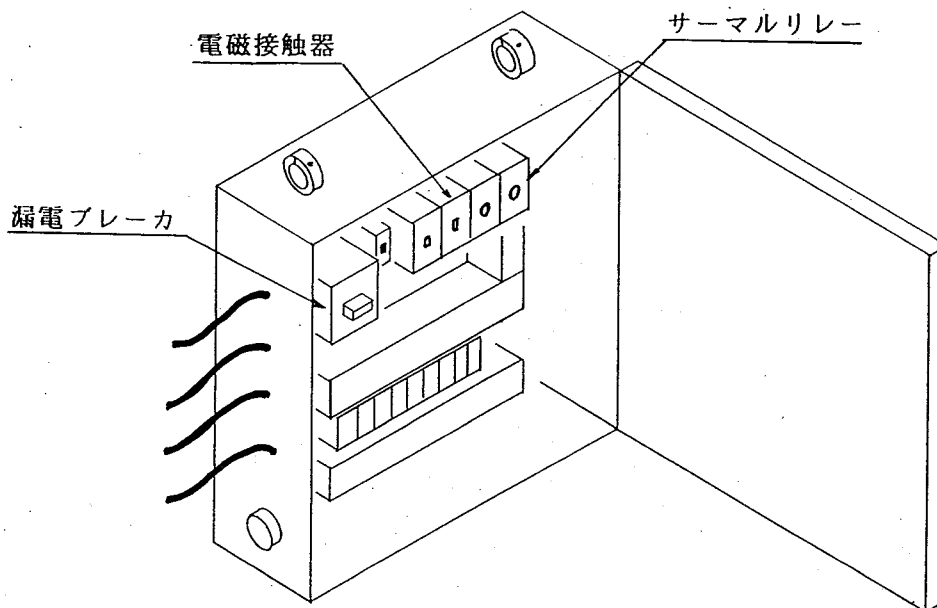


モーターカバーを取付けて下さい。

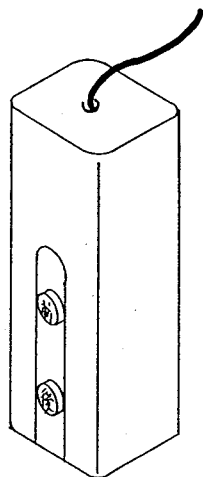
## 台車走行

※走行する時は、周囲に人・工具・資材等がない事を  
十分確認してから行って下さい。

①制御盤内のブレーカのスイッチを **ON** にして下さい。



- ②ペンダントスイッチを **前** 又は、**後** を押して下さい。  
前進・後進は、作業所にて決定して下さい。

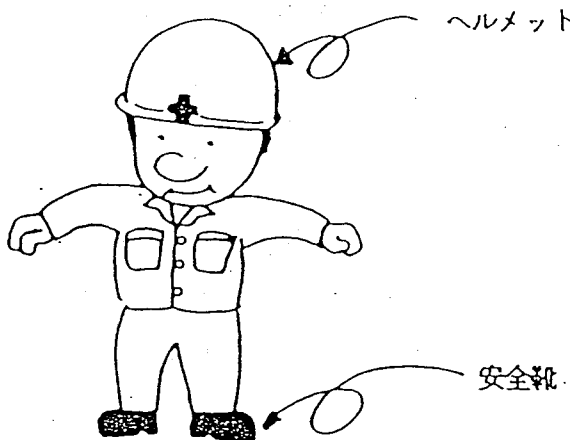


- ③作業終了後は、制御盤内のブレーカを  
**OFF** にして下さい。

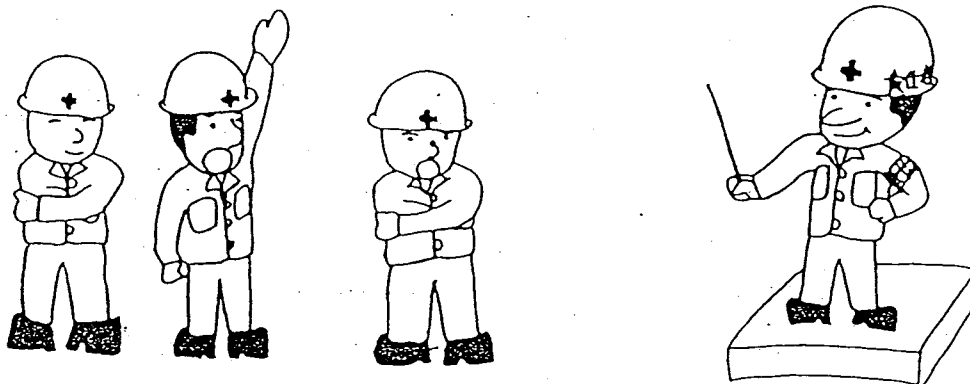
- ④ペンダントスイッチを、決めた所に保管して下さい。

# 安全作業を行う為に

1. 作業を行う際は、必ずヘルメット・安全靴等の安全具を着用し、正しい服装（作業服）で作業を行きましょう。



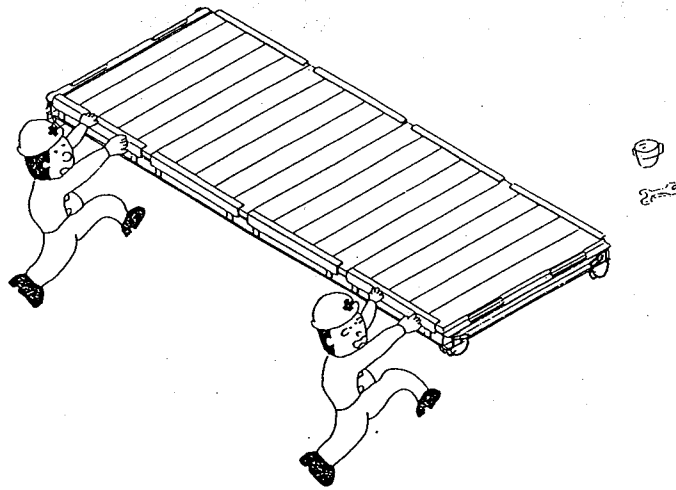
2. 作業責任者または、作業指揮者の指示に従って作業を行きましょう。



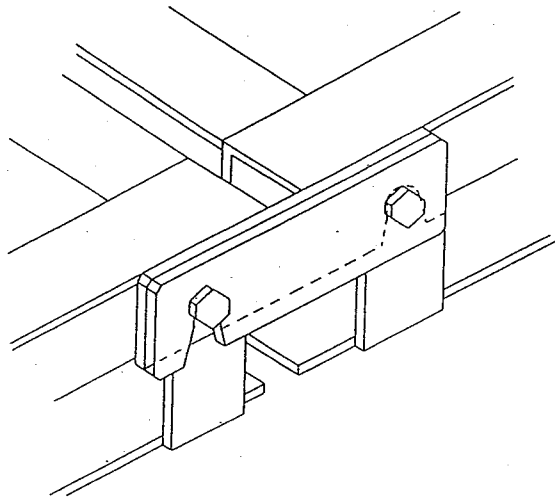
3. 作業場の注意事項を守り、安全に作業を行きましょう。



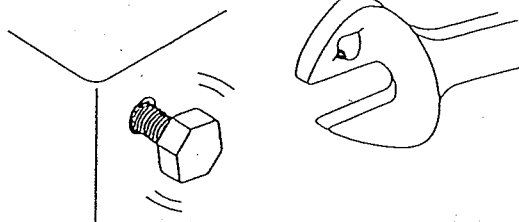
4. 移動する時は、周囲に人・工具・資材等がない事を十分確認してから行って下さい。



5. 移動後は、連結フックが外れていない事を必ず確認してから作業を行って下さい。

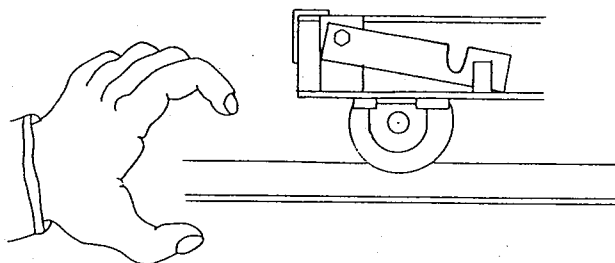


6. 各部のボルトの外れ及び、緩みがないか確認して下さい。

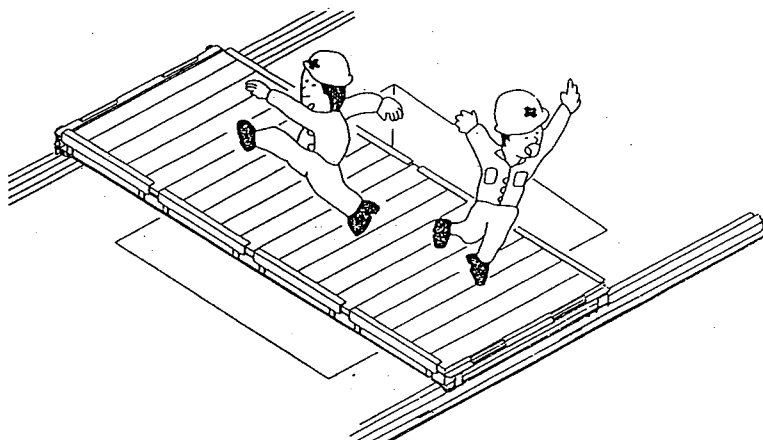




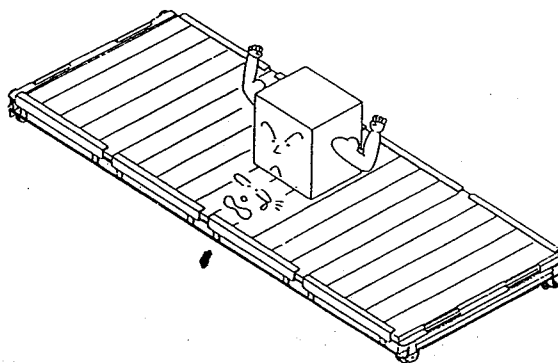
7. 台車使用时・修理・保管等の際、下図の様な箇所や危険な箇所には絶対、手などを入れないで下さい。



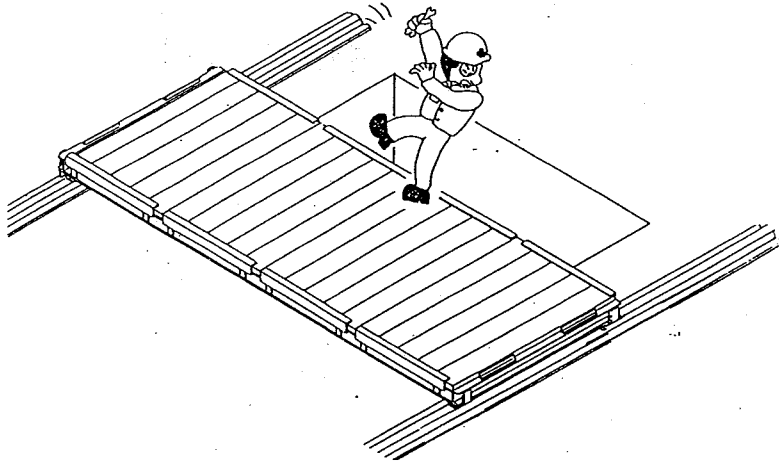
8. 台車の上では、飛び上がったり走ったりするのは絶対にしないで下さい。



9. 台車使用时、600kg/m以上の荷重は絶対に掛けないで下さい。  
(破損する恐れがあります。)

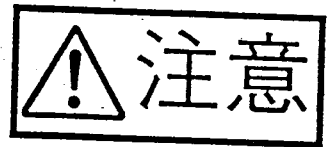
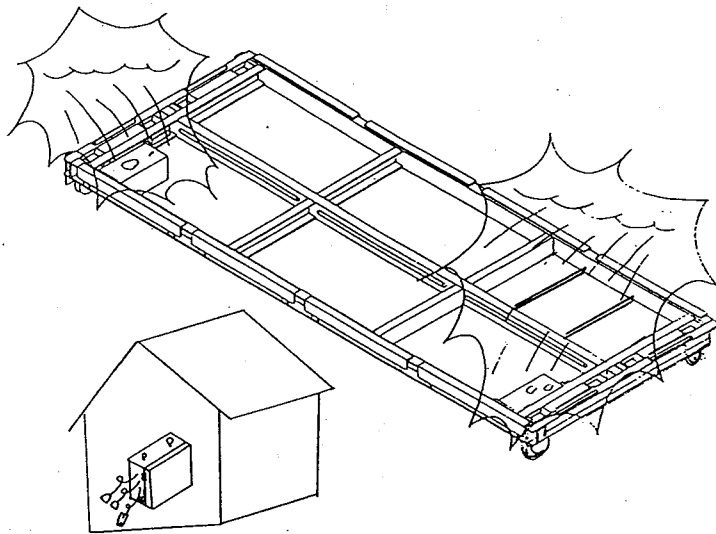


10. 必ず手摺を付けて作業を行って下さい。

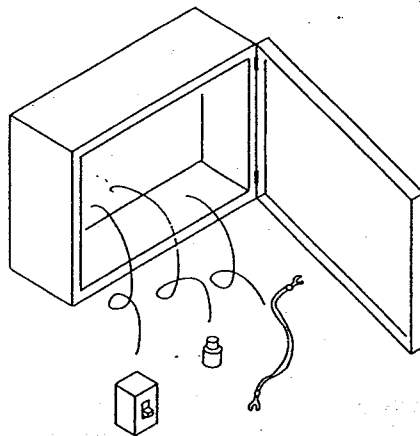


11. 台車使用時・修理・保管等の際、制御盤・モーター等電機部分は絶対に濡らさないで下さい。

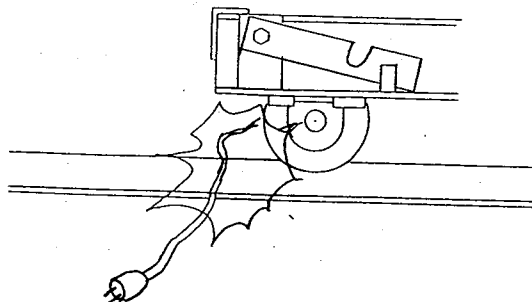
(屋外で保管される場合は必ずシート等を掛けて下さい。)



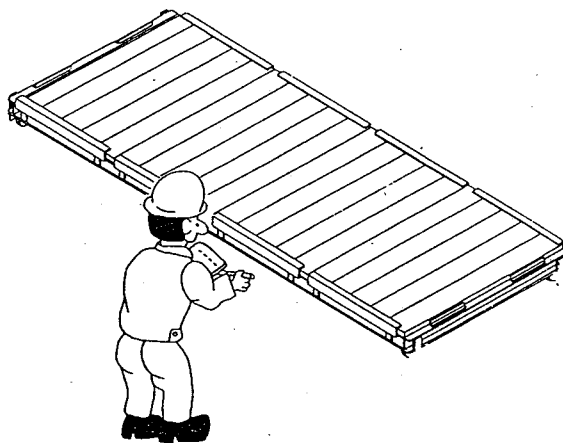
12. 電装部品の分解は絶対にしないで下さい。



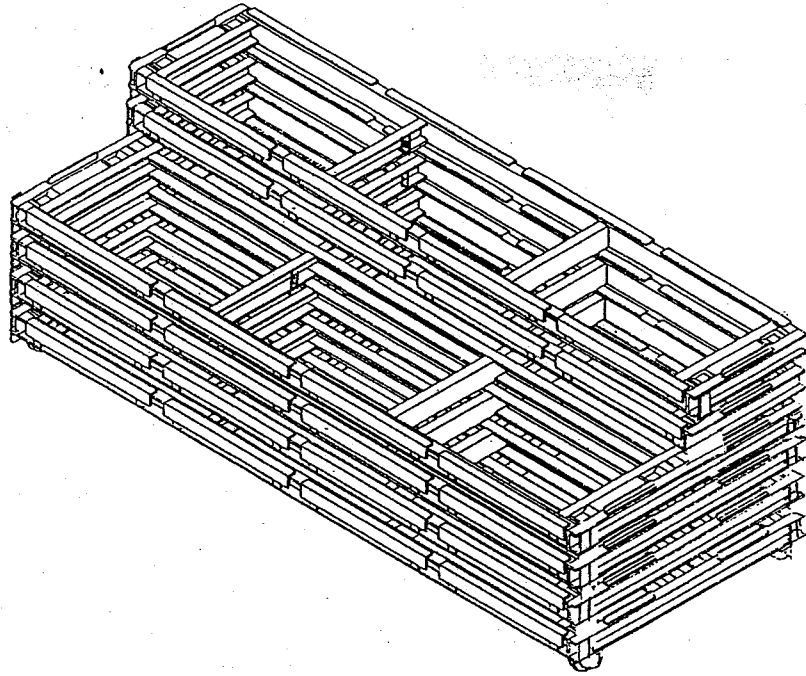
1 3. 台車使用时、電源コード等を切断しない様にして下さい。



1 4. 定期点検は整備マニュアルに基づいて必ず行って下さい。



# 台車の保管



・台車を保管する時は図の様に載せて上へ6段まで、積み重ねる事が出来ます。

